講義名	研究演習Ⅰ		
講義コード	25214	授業形態	演習
担当教員	辻本　乃理子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ５時限		
備考			

ゼミ

学部ゼミ

学部

人間社会学部

学科

人間社会学科

演習名

辻本乃理子ゼミナール（地域居住学）

概要説明

人が地域で「住む」をテーマに、地域空間のあり方と地域での暮らし・生活について考えていきます。
地域には、さまざま年齢や家族形態の人々が生活しています。乳幼児、児童、青少年、成年、中年、高齢者、また、単身で住む、家族と住む、血縁でない繋がりで住む、そして都市部と郊外、農山漁村など様々な視点で地域における人々の暮らし・生活を見ることができ、さまざまな角度から「住む」ことを考えていきます。
また、住宅内での生活から地域コミュニティでの生活、まちづくりまで幅広く扱います。
住み慣れた地域や空間で生活するためには何が問題となっているのか、また何が必要なのか、健康で快適に生活するための方法を学生の皆さんと共に追求したいと考えています。
また、社会連携・地域連携事業にも積極的に参加します。

本演習では、以下のことに取り組みます

（1）根拠にもとづき説得力のある文章を作成する
文章を書くための基礎的知識を習得するため、文章の書き方を学ぶ。
ゼミ学生による輪読や実際に文章を書いてみる。
卒業論文を執筆する。
（2）地域の抱える問題を発見し、解決方法を探る
地域の実情を知るため、フィールドワークにより地域を観察し課題を探り分析する。
I−1グランプリ等の社会共創活動に参加し、企業や地域が抱える問題を学生の視点で発見し分析する。
（3）調査分析の方法を身につける
フィールドワーク。I-1グランプリによる体験の他、地域が抱える問題を解決する方法を身につけるため、調査方法を習得する。
（4）プレゼンテーション能力の向上
フィールドワークや社会共創活動により地域や企業が抱える問題を解決する方法を提案し、発信する。
（5）コミュニケーション能力の向上
ゼミ生同士のコミュニケーションのみならず教員とのコミュニケーションの取り方を理解し、人間関係と信頼関係の構築にむけてのスキルを身につける

これらの活動に参加するためには、ゼミ開催日以外の活動が必要となる場合があります。

ゼミを通じて、自らの能力や可能性を高めるだけでなく、仲間から学ぶ姿勢とともに成長する態度が必要になります。
また、本演習では「報告・連絡・相談」がゼミ参加のマナーとしているため、メールによる連絡に対する返事報告相談ができることが大前提です。

学位

博士（学術）

教員よりの要望

日々変化する社会状況に対して広い視野と関心を持つことを望みます。新聞やテレビニュースなどのメディアにも日頃から接して欲しいです。
わからないことがあれば、まず自分で調べること。それでも分からなければ恥ずかしがらずに質問、相談するようにしてください。放っておくとさらに状況は悪化します。何がわからないのかを自分自身で整理できるようになることが次のステップにつながります。困ったときほど相談することが大切です。
社会連携・地域連携事業に参加し、企業や地域住民に対する政策提案を行うため、ゼミ生同士の協力・コミュニケーション・プレゼンテーションに積極的に参加する意思がある学生の参加を希望します。

教員英字氏名

Noriko Tsujimoto

研究室

研究棟III　3407研究室

最終学歴

奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程生活環境学専攻修了

主な研究活動・社会活動・研究業績

＜研究テーマ＞
　都市住民の緑とのふれあいに関する研究、英国における環境NPOの活動に関する研究

主な研究活動／社会活動／研究業績
＜審査付き論文＞
１）「住民の緑行動と緑意識に見る住宅・宅地開発と緑のあり方に関する研究」奈良女子大学大学院（修士論文）
２）「都市に居住する高齢者の緑行動を促進させる要因－自然環境に関する学習・活動支援を行なう組織の重要性－」日本家政学会誌，第51巻第6号，p509－p519，
３）「高齢者の緑行動の変化が日常生活に及ぼす効果」家政学研究（奈良女子大学家政学会）第49号１巻，p29－p42，
４）「高齢者ボランディアの指導による地域での自然環境学習の実現―大阪市住之江区での事例―」環境情報科学論文集16，p45－p50，
５）「都市に居住する住民の緑行動の現状と緑の保全・維持管理に対する参加について」家政学研究（奈良女子大学家政学会）第50号２巻，p35-44，
６）「都市居住高齢者の緑行動に対する社会的支援のあり方とその効果に関する研究」奈良女子大学大学院（博士論文）

＜学会発表＞
1）「自然環境に関する学習・活動支援についての研究―高齢者の緑行動促進への支援の必要性―」日本建築学会2003年度大会学術講演梗概集，Ｆ－1，p675－p676（於中京大学）
2）「自然環境に関するリーダー養成講座における学習・活動支援について－高齢者の緑行動支援の必要性　その２－」日本建築学会2004年度大会学術講演梗概集，Ｆ－1，p703－p704（於北海道大学）

主な卒業論文のタイトル

＜これまでに指導した卒論タイトルの例＞
・小豆島町における空き家問題に関する研究
・介護制度の視点からみた孤独死の予防の可能性～中国の社区サービス～」
・卒業後のダンス継続に関する研究
・大学生のスターバックス利用に関する研究～学生の好む空間～
・大学生の食生活と食品添加物・無添加への興味・関心
・事件から考える高齢者施設における火災について
・麻痺のある方にとって生活しやすい環境とは
・温泉が人に与える影響
・食の保障～在宅における高齢者への食事支援について～
・都市と地方の介護環境の違い
・園芸療法がもたらす効果について
・障害をもつ子を抱えて働くために～地域サポート　学童保育～
・高齢者が住みやすい環境について～西成区を事例に考える～
・奈良県天川村の高齢者の買い物行動について
・高齢者の生きがいのための二地域居住
・現役世代家族介護者の現状と課題～仕事と介護の両立についての一考察～
・家族介護に対する意識の差～介護を学ぶ子どもとその親、介護以外を学ぶ子どもとその親～

趣味・特技

趣味：パン作り（生地をこねている時が一番好きです。）　楽器演奏（中学・高校は吹奏楽部でテナーサックスを吹いていました。たまにOBとして母校の演奏会に出演しています。）　茶道・華道（現在お稽古お休み中）　ホットヨガ
特技：料理（手早く調理ができます。おいしいと喜んでもらえる時が最高です。しかし、毎日の献立を考え、作ることは悩みの種です。）
スポーツは観戦するよりする方が好きです。

所属

人間社会学部　人間社会学科

所属学会

日本建築学会、日本都市計画学会、日本家政学会、奈良女子大学家政学会、日本造園学会、環境情報科学センター、実践経営学会

専門分野

地域居住学、生活環境学、都市計画

選考方法

演習申込書の内容、１年次の単位取得状況および面接によって選考します。
研究演習Ⅰの取り組み（演習、課外活動など）にすべて出席可能であること。
社会人としてのマナーを守ることができる人（挨拶ができる、時間と約束を守る、教員からの連絡に対して対応および返事ができる。）
イノベーターグランプリ、地域住民との交流など「社会共創プログラム」、「地域連携活動」「フィールドワーク」に取り組む意欲と参加ができること。⇒ゼミ所属決定後、前期中に活動開始準備をします。
大学での学びの集大成として、卒業論文を書くこと。
どの程度学ぶ意欲があるのかも選考基準にします。

担当科目

健康生活論、生活環境論、生活マネジメント論、健康社会学、住宅産業論、コミュニティ論、教養特講Ⅰ（まちづくり学へのいざない、生活科学）、専門基礎演習、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究

備考

評価方法

　ゼミへの出席、課題への取り組み、ゼミでの報告と議論への積極的な参加、社会連携事業への積極的参加等、総合的に評価します。

実務経験の有無及び活用